

稼きたい・稼げるという意識をもつためには？

—稼得意識と自立，人生への満足度との関連—

○松並知子（同志社大学）

上野淳子（四天王寺大学）

キーワード：お金，自立，満足度

問題と目的

子どもや女性の貧困や若者の非正規雇用が問題になっている。リスクを回避するには、自ら稼ごうという意志や稼げるという自信をもつことが重要である。松並・上野（2018, 2019）は「自ら稼ぐ意志」を稼得意識と名付けて尺度を作成した。本研究の目的は、その尺度を使用して稼得意識の関連要因を検討し、今後のキャリア教育・金融経済教育への一助とすることである。

方 法

2020年1月に大学生446名（女性236名，男性201名，その他7名）にweb調査を行った（年齢 $M=19.67$, $SD=1.14$ ）。性別「その他」は少数のため分析から除外した。調査内容は以下の通り。

稼得意識尺度

松並・上野（2019）の14項目，5件法。

人生に対する満足尺度

角野（1994）の5項目，7件法。

経済的自立項目の経済的リスクマネジメント因子

高坂（2018）の6項目，5件法。

自立尺度の主體的自己因子，社会的関心因子

大石・松永（2008）のそれぞれ4項目と5項目，5件法。

お金に関するトーク

「あなたは，家族（両親など）とお金について話すことがありますか」と問い，「よく話す」～「全く話さない」の5件法で回答を求めた。

結果と考察

稼得意識尺度に因子分析を行った結果，先行研究と同じ3因子が見出された。第1因子は「その気になれば，他の人よりも良い収入を得られると思う」など4項目から成る「稼得自信」（ $\alpha=.78$ ），第2因子は「経済的に他者に依存することは避け

たいので，かせぎ続けたい」など6項目から成る「稼得意欲」（ $\alpha=.71$ ），第3因子は「仕事はやりがい重要で，収入は問題ではないと思う」など4項目から成る「稼得軽視」（ $\alpha=.59$ ）である。なお第3因子は前回の「稼得回避」から「稼得軽視」に因子名を変更した。稼ぐことより好きな活動を重視したいなどの項目が多く，稼得活動に価値を見出していないが，稼ぐことを回避しているわけではないと考えられるためである。

ジェンダー差について t 検定を行った結果，「稼得意欲」「稼得軽視」「経済的自立：リスクマネジメント」「自立：社会的関心」は男性が高かった（ $t(435)=7.46$, $p<.001$; $t(375.04)=3.60$, $p<.001$; $t(435)=5.91$, $p<.001$; $t(393.10)=3.68$, $p<.001$ ）。先行研究では稼得意識尺度の3因子とも男性が高かったが，本研究でも稼得や社会経済について男性の方が関心が高い傾向が見られた。

ジェンダー別に各変数間の相関分析を行った結果（Table1），「稼得自信」「稼得意欲」は，男女ともに，自立尺度と「お金に関するトーク」の間に有意な相関が示された。稼げるという自信や稼きたいという意欲には自立意識が関連すること，また家族とお金に関する話をするのが，若者の稼得意識に影響を与えることが示された。キャリア教育では，自立という観点から稼ぐことを促すと同時に，お金に関する話題を積極的にプログラムに取り入れていくことが有効であると考えられる。

「稼得軽視」は，女性では「満足度」との間に非常に弱い相関しか見られなかったが，男性では「自立：社会」と「満足度」との間により強い相関が見られ，稼ぐことを重視しない心性の要因は男女で異なることが示唆された。

Table 1 ジェンダー別の相関分析結果（右上女性，左下男性）

	稼得自信	稼得意欲	稼得軽視	満足度	経済的自立	自立(主体)	自立(社会)	お金トーク
稼得自信	—	.282 ***	-.082	.253 ***	.196 **	.371 ***	.203 **	.308 ***
稼得意欲	.248 ***	—	-.061	.051	.096	.309 ***	.189 **	.233 ***
稼得軽視	.119	-.071	—	.136 *	.061	-.072	.011	-.067
満足度	.367 ***	.070	.218 **	—	.147 *	.341 ***	.208 **	.018
経済的自立	.320 ***	.101	.108	.130	—	.214 **	.451 ***	.138 *
自立(主体)	.368 ***	.289 ***	.087	.429 ***	.279 ***	—	.383 ***	.135 *
自立(社会)	.369 ***	.155 *	.189 **	.372 ***	.450 ***	.462 ***	—	.192 **
お金トーク	.242 **	.146 *	-.006	.048	.268 ***	.165 *	.263 ***	—

* $p<.05$, ** $p<.01$, *** $p<.001$